

教科名	保健体育	単位数	2 単位	担当者	盛田光則・宮園慎一 井上 篤・佐藤清彦
科目名	体育	年次	1 年次		
使用教科書 副教材等					
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
<p>・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができる。</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。競技中の状況を認識し、必要な技能を発揮している。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。		
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの内容 ・スキルテスト ・ゲームを通じた技能の観察 ・記録会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの内容 ・競技中の思考力、判断力の観察 ・リフレクションシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カードの内容 		
占 め る 割 合	50%	25%	25%		
3 学習の目標と振り返り					
	<目 標> ～何ができるようになりたいか具体的に～		<振り返り> ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	1. 体づくり運動 新体力テスト含む ※体づくり運動の行い方を理解することができる。	○	○	○	・体づくり運動の行い方, 体力の構成要素, 実生活への取り入れ方などを理解する。 (a, b, c)	行動の観察 ワークシート リフレクションシート 生徒の相互評価
	2. 器械運動・球技 ・マット運動(男子) ・バスケットボール(女子) ※各種目の特性に応じた課題を見つけ、その競技の楽しさや喜びを感じることができる。 ※基礎的技術の習得を目指し、個人的技能を發揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。	◎	○	○	・自己の能力に応じて技能を高め, 技が円滑にできるようにする。互いに協力したり補助したりし, 計画的練習や発表の仕方の工夫をできるようにする。 (a, b, c) ・パス・ドリブル・シュートなど基礎的な技能を身につけ, 簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c)	
	3. 陸上競技 ・短距離走 ・走り幅跳び(男子) ・砲丸投げ(女子) ※自己の能力に応じて技能を高め, 競技したり, 記録を高めたりできる。	◎	○	○	・スタートから, 中間走, フィニッシュまで, 走る動作について連続性をもって捉え, 有効な動きを身につける。 (a, b, c) ・助走から踏切までの動作をスムーズに行うことができるようにする。 (a, b, c) ・遠くに投げるために必要な体力を高めるための, 効果的な練習法やトレーニングについて理解する。 (a, b, c)	
	4. 球技 ・サッカー(男子) ・ソフトボール(女子) ※基礎的技術の習得を目指し、個人的技能を發揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。	◎	○	○	・ボールを蹴る、止める、運ぶ(ドリブル)、という基礎的な技能を身につけ, 簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c) ・スローイング、キャッチング、バッティング、という基礎的な技能を身につけ, 簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c)	

後期	<p>5. 球技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール(男子) ・サッカー(女子) <p>※基礎的技術の習得を目指し、個人的技能を發揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・スローイング、キャッチング、バッティング、という基礎的な技能を身につけ、簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c) ・ボールを蹴る、止める、運ぶ(ドリブル)、という基礎的な技能を身につけ、簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c)
	<p>6. 球技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール(男子) ・バレーボール(女子) <p>※基礎的技術の習得を目指し、個人的技能を發揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・パス、ドリブル、シュートという基礎的な技能を身につけ、簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c) ・レシーブ、トス、スパイク、サーブという基礎的な技能を身につけ、簡易ゲームの中でその技術を發揮することができる。 (a, b, c)
	<p>7. 武道・器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道(男子) ・マット運動(女子) <p>※各種目の特性に応じた課題を見つけ、その競技の楽しさや喜びを感じることができる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・素手で相手と組み合う格闘形式の運動の特性や「礼」についても正しく理解する。 (a, b, c) ・柔道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。 (a, b, c) ・自己の能力に応じて技能を高め、技が円滑にできるようにする。互いに協力したり補助したりし、計画的練習や発表の仕方の工夫をできるようにする。 (a, b, c)
	<p>7. 体育理論</p> <p>※スポーツの発祥と発展について考え、理解することができる。</p>	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。